

カンパニュラ・メジュームの効率的な電照方法

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花き—その他の1・2年草—生育調節

2 担当者

宗方宏之・鈴木安和・矢島典子

3 要旨

施設利用の冬春期(11～5月)出荷に向けたカンパニュラ・メジュームについて、無加温・電照栽培における開花促進に有効な電照時間を検討し、低コストで効率的な電照方法について明らかにした。

(1) 開花時期は2時間(23:00～1:00)で慣行の4時間(22:00～2:00)とほぼ同時期の2月下旬からとなった。

(2) 切り花品質は2時間で慣行の4時間よりも2Lの割合が多く、下位等級の割合が少なかった。

(3) 電照は定植直後から採花終了まで行い、100V・75Wの白熱電球を2m間隔で高さ1mに設置して行った。

(4) 以上のことから、効率的な電照方法は定植直後から採花終了まで2時間実施する方法であった。

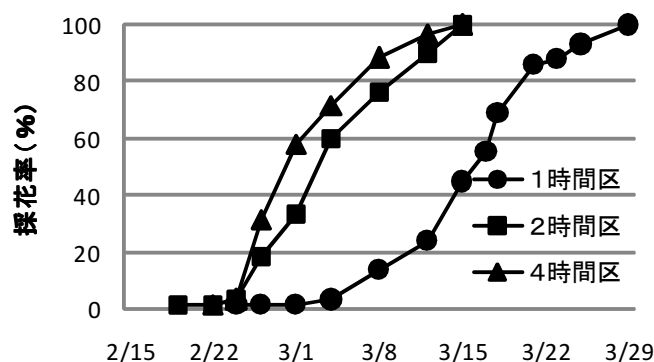


図1 電照時間の違いによる採花率の推移
(チャンピオン・スカイブルー)

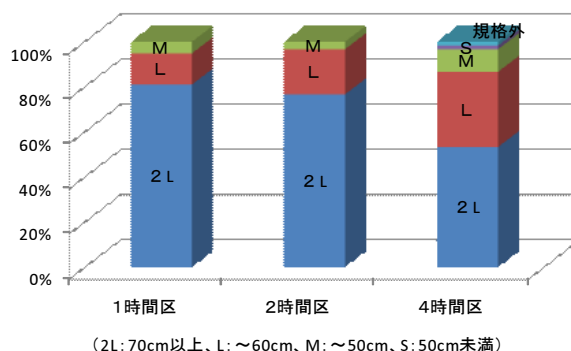


図2 電照時間の違いによる規格別収量割合
(チャンピオン・スカイブルー)

表1 電照時間の違いが切り花品質に及ぼす影響

品種	区	切り花長 (cm)	節数 (節)	茎径 (mm)	全花蕾数 (個/株)	有効花蕾数 ¹⁾ (個/株)	切り花重 (g)	調整重 ²⁾ (g)
チャンピオン・スカイブルー	1時間	82.4 c	26.0 c	6.7 c	24.5 b	14.4 b	79.1 c	44.1 b
	2時間	77.1 b	19.6 b	5.5 b	17.6 ab	10.3 ab	60.4 b	41.8 b
	4時間	70.9 a	17.5 a	4.9 a	16.1 a	9.0 a	51.0 a	38.1 a
チャンピオン・ピンク	1時間	79.7 b	23.9 c	6.2 b	19.2 b	12.4 c	72.7 b	45.3 b
	2時間	83.0 b	20.3 b	5.5 ab	16.9 b	9.5 b	65.1 b	41.8 b
	4時間	73.9 a	16.8 a	4.7 a	13.8 a	8.1 a	53.7 a	38.7 a

¹⁾ 全花蕾のうち、長さ2cm以上の花蕾数とした。

²⁾ 70cmに長さを調整し、切り口より15cmの葉や側枝を除去した重さとした。

³⁾ Tukeyの多重比較法により、各品種で異符号間に5%水準で有意差あり。

4 主な参考文献・資料

(1) 平成21年度センター試験成績概要